

各 位

2017年9月12日  
SBIホールディングス株式会社  
SBI Ripple Asia 株式会社

デイリー インテリジェンス  
**韓国の FinTech 企業 DAYLI Intelligence との提携について**

**～ 金融機関向け分散台帳技術 (DLT) ソリューションの韓国における開拓を加速 ～**

SBIホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役執行役員社長:北尾 吉孝、以下「SBIホールディングス」)の子会社で次世代決済基盤をアジア地域で展開するSBI Ripple Asia株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:沖田 貴史、以下「SBI Ripple Asia」)は、SBIグループの投資先企業である韓国の<sup>イエロ モバイル</sup>Yello Mobile Inc.(本社:韓国ソウル市、代表取締役:イ・サンヒョク)傘下の<sup>デイリー</sup>DAYLI<sup>フィナンシャル</sup> Financial Group Inc.(本社:韓国ソウル市、代表取締役:パク・サンヨン、シン・スンヒョン)の子会社で金融機関向けにブロックチェーンおよびAI技術を基盤としたテクノロジーインフラを提供するDAYLI Intelligence Inc.(本社:韓国ソウル市、代表取締役:イ・ギョンジュン、以下「DI社」と提携し、韓国市場における分散台帳技術(DLT)を活用した金融機関向けソリューションの拡販を本格的に開始いたします。

ブロックチェーン及び分散台帳技術(DLT)は革新的な技術として、金融分野をはじめ幅広い分野での利用が期待されています。SBI Ripple Asiaは2016年5月にSBIホールディングスと米国Ripple社の2社が共同設立したジョイントベンチャーであり、米国Ripple社のソリューションを初めとした分散台帳技術を活用し、日本を中心としたアジアの金融機関に向けて、送金分野における革新的ソリューションの提供を行っております。

韓国は仮想通貨取引における主要市場の一つであり、その基盤であるブロックチェーンにも注目が集まっています。その中でDI社は、韓国内の証券会社等25社が参加している金融投資業界のブロックチェーン商用化コンソーシアムの単独技術パートナーへの選定や、DI社が関与するプロジェクトの韓国の未来創造科学部(日本の文部科学省に相当)等が選定するブロックチェーンのモデル事業への採用、韓国大手のウリ銀行とのデジタル通貨発行に関する業務協約の締結等、韓国において優れた実績を有しております。SBI Ripple Asiaは韓国市場の本格的な開拓に向け、ブロックチェーン等の先端技術に対する豊富な知見と実績を有するDI社と提携し、日本と韓国、韓国とその他の国々との効率的な国際送金の実現を目指します。

以上

\*\*\*\*\*

本プレスリリースに関するお問い合わせ先:

SBIホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126

SBI Ripple Asia 株式会社 広報担当 03-6229-0710